

45	その他の工業	学習日	月	日	名前：
----	--------	-----	---	---	-----

## 1. イギリスの繊維工業

### ① ランカシャー地方

ランカシャー炭田を中心に発達

- (1) … 綿工業
- (2) … 港町（現在は造船）
  - ・ ペニン山脈の西側で、偏西風がペニン山脈にあたる時に降水。湿度が高いため、綿糸が切れにくい。

### ② ヨークシャー地方

リーズ … 毛織物工業

- ・ ペニン山脈の東側で降水量が少なく、牧羊がさかんになる。

## 2. 鉄鋼業の立地の変化

### ① イングランド中部（バーミンガム）

産業革命後いち早く（3）の製鉄業が発展

### ② ドイツ・ルール地方（エッセン・ドルトムント）

ルール地方で取れる石炭とライン川の水運をもとに製鉄業が発展  
 同じことはアメリカの五大湖周辺（ピッツバーグ）でも見られる  
 ここも（3）

### ③ 沿岸地方

海外からの安価な原材料の輸入によって沿岸部に（4）の工場が設立された。

時代で言うと、①→②→③の順に発展したんだ。  
 ルールなどは現在では環境技術などが発展しています。

【 共通試験試行調査 30年 第2問より 】

ipadまたはワーク参照

## 3. 自動車工業

自動車の生産台数は80年代に日本が1位 → 90年代はアメリカが1位 → 2000年代半ばに日本が1位 → 中国が圧倒的な伸びを見せると変化。

## 4. 航空機産業

当然、多くの部品が必要であり、さらに高いレベルの技術・安全性が必要なものが航空機  
 大型機の生産はアメリカのボーイング社とヨーロッパのエアバス社の寡占状態。  
 ボーイング社はアメリカ西海岸のシアトルと東海岸のノースカロライナに巨大組み立て工場があり、部品はフランス、イタリア、オーストラリア、韓国、日本などから調達している。  
 エアバス社はアメリカ企業に対抗するため（これがEUが作られた理由の一つ）にフランスと西ドイツの企業が設立した会社。初めから国際分業が進んでいたが、フランスの（6）に組み立て工場がある。

## 5. 先端技術産業

先端技術産業は「産学連携」と言われる、大学と民間企業の連携が重要。これが最もさかんなのはアメリカ。

アメリカの工業は北緯37度以南の（7）はかつて工業が遅れていた地域だったが、工業が発達し現在はアメリカ工業の中心となっている。それに対して五大湖周辺の古い工業地帯はスノーベルトと呼ぶ。

そのほかに先端技術産業がさかんな地域があり、「シリコン●●」と呼ばれている。  
 ただし、自動車と同じで組み立ては別の国で行うことが多い。iPadも「made in China」がほとんどであるが、本体には「designed by apple in california」等と書かれている。

インドも先端技術産業が集積しているところがある。特に（8）は有名。  
 時差を利用してアメリカのITC企業が進出し、バックオフィスが作られている。